

1月(2018) p4c Japan ミーティング報告

- 日程 2018.1.28(日)
- 時間 17:30-19:00
- 会場 大阪大学中之島センター501
- 参加者 大学教員1名 小学校教員(国立・公立)4名 中高一貫(私学)教員3名
中等教育校(国立)教員1名 パン屋さん1名(p4c活動主宰)
学習支援(一般社団法人主催)1名 幼稚園附設塾教員2名
- 記録 辻村(※:記録者)

キーワード

p4c プレ・カンファレンス アーダ・コーダ ローカル(学級経営 わたしのクラス) メタ・ダイアログ
カリキュラムマネジメント 中学受験

0.プレ・国際カンファレンスについて

17:30の時点で参加者が運営メンバーだったので、MLをまとめた資料とレジユメによってプレ・カンファレンスについて議論。

日時

: 8月24・25日のいずれか。(あるいは、8月17・18日) - 神戸大学附属中等教育学校の施設使用状況などから近日中に決定。

コンセプト/テーマ

: 金澤さんから

「学級経営」「(わたしの)クラスを守る」という目的でp4cを行っているのはLocal(※日本独特という意味)なのではないか? Localに焦点化してカンファレンスを具体化するのはいかがでしょうか? - という提案。

その流れで議論。意見が集約される。

テーマ(案):「日本のp4c(日本の学校におけるp4c)」

目的

: 川辺氏(アーダ・コーダ)「日本のP4Cの取り組みを海外にも発信できる機会を持つことで、結果として日本国内のP4C実践者が交流できること(目的) / 学校におけるP4Cの実践はその性質上(学校における苦労話も含めて)、インターネット上に載せにくいのではないかと。そこで、実際に会って話を聞ける「文化祭」のようなもの(企画背景)」中川さん「スタッフ全員発表」

内容(案)

: スタッフ全員でのポスターセッション(スタッフ以外でもミーティングに参加して下さって活動/研究されている**全国の仲間にも声かけする**-広島・愛知・徳島・山梨・ハワイ……)

発表内容(案)「なぜ/誰に対して/どのように」(梶形さん)

当日の日程（案）

- : 12:00～（受付開始）
- 13:00～ごあいさつ 榊形さん
- 13:20～15:00 ポスターセッション（スタッフ全員）
- 15:10～16:40 講評（未定）・質疑応答（※コミュニティボールを使って？）

参加費

- : 1,000 円（資料代として）

継続審議

- : 役割分担 渉外 内容の精査／具体化など（※他にあれば ML 上でご指摘ください）

1.ミーティング

1-1 12月ミーティング「P4Cを使った時期指導要領をみすえた一考察と提案「主体的、対話的で深い学び」カリキュラムマネジメント」を前提とした事業実践報告（資料に基づいて）

- ・12/18,19, 21 1/25 の4回分の授業と児童たちの感想・シートの構成などについて詳細に説明頂く。
- ・メタ・ダイアログ的な視座からの意見を得る工夫として、シートに「話の進め方」の欄をつける。（クラスを半分に分けて対話するグループと観察するグループを設けた方法）
- ・シート欄に敢えて「心にひびいた言葉」という表現を用いることで、「よい／悪い」の価値判断を排した。
- ・1/25 の授業では「哲学的な概念を吟味するような意見」や私学受験で活発に議論する児童がいない中今まであまり発言しなかった児童に高評価の「付箋」が集まるなど、新たな発見もあった。
※個人情報の問題もあり、報告できないことが多いのですが、興味深いご発表でした。

1-2 初参加のお二人のご紹介

- ・大阪市内の仏教系幼稚園附設塾からお二人の先生が参加して頂きました。
※p4c活動を主宰するスタッフ（パン屋さん）の紹介です。
- ・中学受験を希望する卒園した小学生を教えている。〈ことばの寺子屋〉身体とことばにフォーカスして学力を育てることを標榜されている仏教系の塾。
- ・ニューズレターでオスカー・ブルニフィエ『よいこととわるいことってなに？』を紹介されています。

以上